

諸沢地内で合同山岳救助訓練を実施

11月15日、諸沢地内の休場展望台^{やすんば}で、東消防署と大宮警察署合同の山岳救助連携訓練を実施しました。

訓練は、ハイキングに出掛けた男性の行方がわからなくなったとの想定により行われ、行方不明の連絡を受けた後、消防署員と警察署員、県警ヘリが出動し捜索活動を開始しました。

現場上空を飛行中の県警ヘリが、山中の急斜面に倒れている遭難者を発見。連絡を受けた両署員が発見場所へ向かい応急処置をし、救助担架に乗せロープを使って斜面から引き上げ、遭難者を救出しました。

そして救助訓練終了後には、消防署員の指導のもと警察署員が心肺蘇生法の訓練を実施しました。訓練を通じて、消防と警察の連携を深め、常陸大宮市の安全を守ることを再確認しました。



▲発見した行方不明者を担架へ乗せる



▲行方不明者を斜面から引き上げ救出

つけましたか？ 住宅用火災警報器



平成16年に消防法が改正され、新築住宅の住宅用火災警報器の設置は、全国一律で平成18年6月1日より設置が義務化されました。そして平成20年6月1日からは既存住宅を含め、すべての住宅に設置が義務付けられています。

常陸大宮市でも、住宅用火災警報器により火災を早期に発見し、大事に至らなかったケースもあり、全国でも奏功事例が多数報告されています。

「住宅用火災警報器」は、火災を早期に知らせ、あなたや家族の大切な命を守ります。まだ設置されていない場合は、早めに設置をしてください。



■住宅火災警報器の問い合わせ先■
市消防本部 予防課 ☎53-1156

茨城県ドクターヘリ 活躍中！



平成22年7月1日に運行が開始された茨城県ドクターヘリは、平成22年11月末日までに県内各地から194件の出動要請がありました。当市消防本部でも平成22年11月末日までに16件の出動要請をしています。

当市は山間部を抱え、三次医療機関（救命救急センター）までの距離が遠い等、重傷者の陸路での長時間搬送等が課題となっています。尊い命を救うために、これからもドクターヘリと連携した救急救命活動を行っていきます。

